

道

2017年11月



▼高校一年の秋頃だったか、和歌山で全国の高校生が集まる会があるので行かないかと誘われた。三年生の生徒会長からだったのと、ただで一泊旅行ができるという邪心、それに、断る理由もなかった。▼全国高校生部落問題研究会。関西地区の高校生の発表に体が震えた。歴史学者の講演を「目からウロコ」の思いで聞いた。振り返って、ここから僕の人生は大きく変わっていったような気がする。この集会に出ることがなかったら、その後の人生はどうなっていたか考えないではない。▼こうした「人生の転機」を僕はどれだけ経てきたのだろう。また、その転機とその後、の人生はどのようにもたらされたのだろう。偶然か必然か、或いは、強い意志によってか、欲や邪心からか、時々の成り行きか。勇気を振り絞ったこともあれば、弱さのままに過ぎることもあった。後になってあれが転機だったと知る。それらすべての結果が今の僕である。▼〈ケア〉の仕事に就いて三年が過ぎた頃、僕にとって一つの転機があった。認知症講演会で小沢勲さんの話に心が揺さぶられた。会の後、「勉強会をしたいなあ」となった四人で〈ケア〉を考える会」を京都で立ち上げる。これが今月一五回を迎えた。さらに、「ヘケア」を考える会・岡山」は三五回、「ヘケア」カフェ「まび」は四三回と続いている。今の僕を支える柱のひとつといつてよいものだ。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

